

< 資料 2：非訪問系事業所 集計結果 >

**事業所の概要**

表 1 問2 事業所の設置主体

自治体	社会福祉協議会	社会福祉法人(社会福祉協議会以外)	財団、社団等法人	非営利法人(NPO)	営利法人	医療法人	その他	回答なし	合計
23	14	242	2	77	18	11	2	3	392
5.9	3.6	61.7	0.5	19.6	4.6	2.8	0.5	0.8	100.0

表 2 問3 主担当者である事業

生活介護事業	自立訓練事業	就労継続支援事業	重心児(者)通園事業	地域活動支援センター	日中一時支援	短期入所	共同生活介護・援助	身体障害者福祉ホーム	施設入所支援	児童デイサービス
98	6	56	3	41	11	8	59	6	9	8
24.9	1.5	14.3	0.8	10.5	2.8	2.0	15.1	1.5	2.3	2.0

肢体不自由児通園施設	知的障害児通園施設	身体障害者療護施設(通所)	身体障害者療護施設	身体障害者更生施設(通所)	身体障害者更生施設	身体障害者授産施設(通所)	身体障害者授産施設	知的障害者更生施設(通所)	知的障害者更生施設	知的障害者授産施設(通所)
2	7	1	4	0	1	5	1	4	6	26
0.5	1.8	0.3	1.0	0.0	0.3	1.3	0.3	1.0	1.5	6.6

小規模作業所等	上記以外	回答なし	合計
10	16	4	392
2.6	4.1	1.0	100.0

表 3 問4 重度の肢体不自由がある人への職員による医療的ケアについての原則・方針

全面的に実施する原則で運営している	部分的にだが、前向きに実施している	、状態を勘案し実施することもある	実施しない方針で運営している	その他	回答なし	合計
14	57	87	141	52	41	392
3.6	14.5	22.2	35.9	13.3	10.5	100.0

表 4 問5 看護師配置の有無

いる	いない	回答なし	合計
176	212	4	392
44.9	54.1	1.0	100.0

表 5 問5 看護師資格の常勤専従職員数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合計
31	8	2	6	129	176
17.6	4.5	1.1	3.4	73.4	100.0

表 6 問5 看護師資格の常勤兼務職員数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合計
34	6	2	2	132	176
19.3	3.4	1.1	1.1	75.1	100.0

表 7 問5 看護師資格の非常勤専従職員数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合計
48	5	5	1	117	176
27.3	2.8	2.8	0.6	66.5	100.0

表 8 問5 看護師資格の非常勤兼務職員数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合計
39	7	4	0	126	176
22.2	4.0	2.3	0.0	71.5	100.0

表 9 問6 平均看護職員数(看護師のいる事業所)

0.5人未満	0.5人以上 1人未満	1人以上2 人未満	2人以上	回答なし	合計
47	28	66	29	6	176
26.7	15.9	37.5	16.5	3.4	100.0

表 10 問6 事業の利用定員(看護師のいる事業所)

10人以下	20人以下	30人以下	40人以下	50人以下	51人以上	回答なし	合計
25	54	24	23	11	19	20	176
14.2	30.6	13.6	13.1	6.3	10.8	11.4	100.0

表 11 問6 看護師がいる事業所の定員10人あたり看護職員数(通常時の平均的人数)

0.1人未満	0.1人以上 0.2人未満	0.2人以上 0.3人未満	0.3人以上 0.5人未満	0.5人以上 1人未満	1人以上2 人未満	2人以上5 人未満	5人	回答なし	合計
28	27	22	21	38	12	5	2	21	176
15.9	15.3	12.5	11.9	21.6	6.8	2.8	1.1	11.9	100.0

表 12 問7 看護職員の増員意向

はい 募集 しているが 集まらない	はい 今後 募集を考え ている	現状では問 題ないが必 要に応じて 検討する	いいえ	その他	回答なし	合計
20	13	91	45	5	2	176
11.4	7.4	51.7	25.6	2.8	1.1	100.0

表 13 問8 看護職員の配置意向

はい すで に募集して いるが集ま らない	はい 今後 募集を考え ている	はい 人件 費を勘案す ると、現状と しては配置 するのは難 しい	現状では問 題ないが必 要に応じて 検討する	いいえ	その他	回答なし	合計
1	7	34	76	63	25	6	212
0.5	3.3	16.0	35.9	29.7	11.8	2.8	100.0

表 14 問9 医療機関や同一法人施設等からの看護師の計画的な訪問・巡回の有無

ある	ない	回答なし	合計
47	324	21	392
12.0	82.6	5.4	100.0

表 15 問10 夜間の看護師の勤務等の有無

ある	ない	事業所職員 以外の看護 師による巡 回あるいは 定期訪問が ある	回答なし	回答者数
5	135	5	247	392
1.3	34.4	1.3	63.0	100.0

表 16 問 11 医師配置の有無

いる	いない	回答なし	合 計
196	166	30	392
50.0	42.3	7.7	100.0

表 17 問 11 医師の常勤専従職員数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合 計
2	0	0	0	194	196
1.0	0.0	0.0	0.0	99.0	100.0

表 18 問 11 医師の常勤兼務職員数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合 計
9	0	0	0	187	196
4.6	0.0	0.0	0.0	95.4	100.0

表 19 問 11 医師の非常勤専従職員数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合 計
40	1	1	4	150	196
20.4	0.5	0.5	2.0	76.6	100.0

表 20 問 11 医師の非常勤兼務職員数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合 計
101	11	4	0	80	196
51.6	5.6	2.0	0.0	40.8	100.0

**問合せや依頼への対応状況**

表 21 問 12 重度の肢体不自由児者への医療的ケア対応についての問い合わせの有無

あった	なかった	回答なし	合 計
67	312	13	392
17.1	79.6	3.3	100.0

表 22 問 12 医療的ケア対応の可否について問い合わせ件数(児童)

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合 計
9	4	6	5	43	67
13.4	6.0	9.0	7.5	64.1	100.0

表 23 問 12 医療的ケア対応の可否について問い合わせ件数(成人)

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合計
16	9	6	12	24	67
23.9	13.4	9.0	17.9	35.8	100.0

表 24 問 13 重度の肢体不自由児者への医療的ケア対応についての問い合わせ主

本人・家族から	訪問看護事業所から	病院のワーカー等医療関係者から	相談支援事業所から	相談支援事業所以外の障害福祉サービス事業所から	市町村役場の福祉担当職員から	特別支援学校(旧養護学校)から	その他	回答なし	回答者数
44	3	10	26	12	10	15	1	1	67
65.7	4.5	14.9	38.8	17.9	14.9	22.4	1.5	1.5	100.0

表 25 問 14 重度の肢体不自由児者への医療的ケア対応についての問い合わせ内容

医療的ケアが必要だが利用は可能であるか	定員に空きがあるか	人的条件について(看護師等職員配置)	実施内容について(日中活動、送迎、入浴等)	非医療職に医療的ケアを実施してもらえるか	その他	回答なし	回答者数
60	30	12	27	7	4	1	67
89.6	44.8	17.9	40.3	10.4	6.0	1.5	100.0

表 26 問 15 医療ケアを必要とする児童利用者人数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合計
5	3	0	1	58	67
7.5	4.5	0.0	1.5	86.5	100.0

表 27 問 15 医療ケアを必要とする児童利用者のべ回数

10回以下	100回以下	101回以上	回答なし	合計
3	2	0	62	67
4.5	3.0	0.0	92.5	100.0

表 28 問 15 医療ケアを必要とする成人利用者人数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合計
10	6	3	3	45	67
14.9	9.0	4.5	4.5	67.1	100.0

表 29 問 15 医療ケアを必要とする成人利用者のべ回数

10回以下	100回以下	101回以上	回答なし	合計
11	3	3	50	67
16.4	4.5	4.5	74.6	100.0

表 30 問 16 医療的ケア対応への本人家族の満足度

おおよそ希望がかなえられ満足していると思われる	不満は聞かれていない	回数に不満を感じていると思われる	内容に不満を感じていると思われる	回答なし	回答者数
9	17	4	9	22	57
15.8	29.8	7.0	15.8	38.6	100.0

表 31 問 17 医療的ケアの実施を依頼されたが断ったケースの有無

ある	ない	回答なし	合 計
38	24	5	67
56.7	35.8	7.5	100.0

表 32 問 17 医療的ケアの実施を依頼されたが断った件数

1件	2件	3件	4件以上	回答なし	合 計
14	9	3	9	3	38
36.8	23.7	7.9	23.7	7.9	100.0

### 医療的ケアの現状

表 33 問 18 過去1ヶ月間の重心児者の利用の有無

はい	いいえ	回答なし	合 計
98	284	10	392
25.0	72.4	2.6	100.0

表 34 問 18 過去1ヶ月間の重心児者利用人数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合 計
11	12	15	59	1	98
11.2	12.2	15.3	60.3	1.0	100.0

表 35 問 18 過去1ヶ月間の重心児者利用者 年齢下限

0～5歳まで	6～14歳まで	15～19歳まで	20～39歳まで	40～59歳まで	60歳以上	回答なし	合 計
4	8	34	40	3	0	9	98
4.1	8.2	34.7	40.7	3.1	0.0	9.2	100.0

表 36 問 18 過去1ヶ月間の重心児者利用者 年齢上限

0～5歳まで	6～14歳まで	15～19歳まで	20～39歳まで	40～59歳まで	60歳以上	回答なし	合 計
2	1	1	39	27	12	16	98
2.0	1.0	1.0	39.9	27.6	12.2	16.3	100.0

表 37 問 19 医療的ケアが必要な利用者の有無

はい	いいえ	回答なし	合 計
54	42	2	98
55.1	42.9	2.0	100.0

表 38 問 19 過去1ヶ月間の医療的ケアが必要な人数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合 計
18	11	7	17	1	54
33.2	20.4	13.0	31.5	1.9	100.0

表 39 問 19 過去1ヶ月間の医療的ケアが必要な利用者の年齢下限

0～5歳まで	6～14歳まで	15～19歳まで	20～39歳まで	40～59歳まで	60歳以上	回答なし	合計
2	4	14	27	2	0	5	54
3.7	7.4	25.9	50.0	3.7	0.0	9.3	100.0

表 40 問 19 過去1ヶ月間の医療的ケアが必要な利用者の年齢上限

0～5歳まで	6～14歳まで	15～19歳まで	20～39歳まで	40～59歳まで	60歳以上	回答なし	合計
1	1	1	25	8	6	12	54
1.9	1.9	1.9	46.2	14.8	11.1	22.2	100.0

表 41 問 20 必要な医療的ケアの種類

吸引	経管栄養	呼吸管理	導尿	その他、インスリン注射、薬液の吸入など	回答なし	回答者数
38	40	17	16	12	1	54
70.4	74.1	31.5	29.6	22.2	1.9	100.0

表 42 問 20-1 吸引

口腔内吸引	鼻腔内吸引	気管内吸引	その他	回答者数
31	16	19	0	38
81.6	42.1	50.0	0.0	100.0

表 43 問 20-2 経管栄養

経鼻経管	胃瘻	腸瘻	その他	回答者数
18	35	2	0	40
45.0	87.5	5.0	0.0	100.0

表 44 問 20-3 呼吸管理

人工呼吸器	酸素療法	鼻咽頭エアウェイ	その他	回答者数
6	7	3	4	17
35.3	41.2	17.6	23.5	100.0

表 45 問 21 過去1ヶ月間の医療的ケアの必要な重度の肢体不自由児者の利用の有無

はい	いいえ	回答なし	合計
66	320	6	392
16.8	81.7	1.5	100.0

表 46 問 21 過去1ヶ月間の重度の肢体不自由の利用者人数

1人	2人	3人	4人以上	回答なし	合計
17	15	7	25	2	66
25.8	22.7	10.6	37.9	3.0	100.0

表 47 問 21 過去1ヶ月間の重度の肢体不自由の利用者 年齢下限

0～5歳まで	6～14歳まで	15～19歳まで	20～39歳まで	40～59歳まで	60歳以上	回答なし	合計
2	2	13	33	6	1	9	66
3.0	3.0	19.7	50.1	9.1	1.5	13.6	100.0

表 48 問 21 過去1ヶ月間の重度の肢体不自由の利用者 年齢上限

0～5歳まで	6～14歳まで	15～19歳まで	20～39歳まで	40～59歳まで	60歳以上	回答なし	合計
1	1	1	25	13	10	15	66
1.5	1.5	1.5	37.9	19.7	15.2	22.7	100.0

表 49 問 22 重度の肢体不自由児者への医療的ケア実施者

職員が実施した	利用者の家族等が実施した	サービス利用中には医療的ケアの実施は必要なかった	回答なし	回答者数
52	6	8	2	66
78.8	9.1	12.1	3.0	100.0

表 50 問 22-2 重度の肢体不自由児者への医療的ケアを実施した職員の状況

非医療職員	看護師・准看護師の資格をもつ職員	看護師以外の医療資格をもつ職員	その他	回答者数
25	48	7	2	52
48.1	92.3	13.5	3.8	100.0

表 51 問 23 非医療職員による医療的ケアを実施しなかった理由

法的に認められていないから	医療的ケアが支援員の業務として位置づけられていないから	医療的ケアについての加算がないから	利用者本人にとってのリスクが高いから	非医療職員にリスク、抵抗感があるから	訪問看護事業所または看護師の協力が得られにくいから	医療的ケアの研修が不十分であるから	家族や本人から依頼されないから	医療資格をもつ職員だけで十分対応できたから	免責制度や賠償保険制度が未整備であるから	法人が認めないから
20	11	4	11	10	1	7	2	10	4	9
39.2	21.6	7.8	21.6	19.6	2.0	13.7	3.9	19.6	7.8	17.6

その他	回答なし	回答者数
0	29	51
0.0	56.9	100.0

表 52 問 24 非医療職員により実施した医療的ケアの種類

吸引	経管栄養	呼吸管理	導尿	排便	じょく瘡(とこずれ)の処置	巻き爪や爪水虫状態の爪を切ること	その他、インスリン注射、薬液の吸入など	回答者数
17	14	10	1	3	8	7	3	25
68.0	56.0	40.0	4.0	12.0	32.0	28.0	12.0	100.0

表 53 問 24-1 非医療職員により実施した吸引の内容

口腔内吸引	鼻腔内吸引	気管内吸引	その他	回答者数
13	6	6	0	17
76.5	35.3	35.3	0.0	100.0

表 54 問 24-2 非医療職員により実施した経管栄養の内容

経鼻経管	胃瘻	腸瘻	その他	回答者数
8	11	0	0	14
57.1	78.6	0.0	0.0	100.0

表 55 問 24-3 非医療職員により実施した呼吸管理の内容

人工呼吸器	酸素療法	鼻咽頭エア ウェイ	その他	回答者数
4	6	0	2	10
40.0	60.0	0.0	20.0	100.0

表 56 問 25 非医療職員による医療的ケアを実施した場所

利用者の自 宅	通所施設等 内	ケアホーム 等居住施設 内	外出先	送迎・移動 中	その他	回答なし	回答者数
0	20	5	3	5	0	1	25
0.0	80.0	20.0	12.0	20.0	0.0	4.0	100.0

表 57 問 26 非医療職員による医療的ケアを実施した理由

利用者自身 にとって意 義のある行 為と思うか ら	家族の強い 要望に応え ようと思うか ら	研修を受け れば可能と 考えている から	やむを得ず に医療的ケ アを実施し た	緊急時対応 で行ってい る	医療的ケア は家族が自 宅でしてい ることだから 生活行為と 考えるから	その他	回答者数
16	14	9	5	4	7	1	25
64.0	56.0	36.0	20.0	16.0	28.0	4.0	100.0

表 58 問 27 非医療職員による医療的ケア実施にあたっての人的配慮

医療職員と 協働で行う	研修を受け た職員のみ が行う	慣れた職員 があたれる よう担当者 を決めてい る	その他	回答なし	回答者数
18	17	10	1	1	25
72.0	68.0	40.0	4.0	4.0	100.0

表 59 問 28 医療的ケアを実施する職員の資格への考慮状況

資格は考慮 していない	正規職員の み	資格を考慮 している	回答者数
12	12	3	25
48.0	48.0	12.0	100.0

表 60 問 28-3 医療的ケアを実施する職員について考慮している資格

介護福祉士	ヘルパー2級以上	社会福祉士	その他	回答なし	回答者数
1	2	0	0	1	3
33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	100.0

表 61 問 29 非医療職員による医療的ケア実施に向けての条件整備状況

利用者との契約	主治医からの依頼書等	主治医による研修	事業所による研修	看護師による研修	家族および本人による指導	緊急時の主治医との連携	看護師との連携	個別マニュアルの作成	医療的ケアの記録	医療的ケア検討委員会の開催
13	9	3	10	17	11	8	21	15	8	1
52.0	36.0	12.0	40.0	68.0	44.0	32.0	84.0	60.0	32.0	4.0

医療的ケアをカバーする保険に加入している	回答者数
0	25
0.0	100.0

表 62 問 30 非医療職が医療的ケアを実施することへの自治体周知状況

はい	いいえ	回答なし	合計
17	6	2	25
68.0	24.0	8.0	100.0

### 医療的ケアに関する研修制度

表 63 問 31 医療的ケアに関する研修機会

ある	ない	回答なし	合計
70	316	6	392
17.9	80.6	1.5	100.0

表 64 問 32 外部研修会への受講の機会の提供状況

費用負担はしないが、希望する職員が参加できるようにシフト等に配慮している	費用を出して派遣している	研修会の開催は知っているが、参加させたことがない	研修会があることを知らない	本人の意識に任せている	回答なし	合計
17	44	78	156	82	15	392
4.3	11.2	19.9	39.9	20.9	3.8	100.0

表 65 問 33 外部研修への職員派遣意向

有料でも職員に受けさせたい	無料の研修の機会があれば受けさせたい	内部の職員で研修が可能なので必要ない	事業所として医療的ケアに取り組む意思がないため必要ない	職員からの希望があれば検討する	どれともいえない	回答なし	合計
72	63	3	34	149	57	14	392
18.4	16.1	0.8	8.7	37.9	14.5	3.6	100.0

表 66 問 34 医療的ケアに関する研修内容で特に興味があるもの

医療的ケアの歴史と考え方(社会的・法的観点等)	医療的ケアの心構え	医療的ケア実施に必要な人体器官の基礎知識	痰の吸引等、医療的ケア内容についての具体的知識	実習・体験(不特定多数への実施を念頭においたもの)	実習・体験(特定の利用者への実施のためのもの)	その他	回答なし	回答者数
85 21.7	176 44.9	179 45.7	196 50.0	138 35.2	92 23.5	26 6.6	43 11.0	392 100.0

**非医療職員が医療的ケアを実施することについての意見・考え**

表 67 問 36 非医療職員が医療的ケアにかかわることへの賛否

基本的に賛成である	基本的に反対である	どちらともいえない	回答なし	合計
105 26.8	61 15.6	205 52.2	21 5.4	392 100.0

表 68 問 37 非医療系のヘルパーが医療的ケアを実施することについての意義

治療重視(医療モデル)から生活重視(社会モデル)への転換が必要である	医療的ケアは生活支援行為である	利用者の活動や生活の場が広がる	利用者のQOLの向上に役立つ	利用者をトータルに支援できる	利用者と信頼関係を築くために重要である	利用者が自立した生活を送ることができる	結果として家族の負担が軽減する	家族が将来の不安の軽減につながる(夢や希望が持てる)	命を守るために必要	その他
105 26.8	132 33.7	208 53.1	144 36.7	136 34.7	45 11.5	130 33.2	188 48.0	140 35.7	179 45.7	28 7.1

回答なし	回答者数
34 8.7	392 100.0

表 69 問 38 非医療職のヘルパーが医療的ケアを実施することの課題

医療的ケアが業務として位置づけられていない	医療的ケアについての加算がない	非医療職のための医療的ケアの研修が不十分である	訪問看護事業所または看護師の協力が得られにくい	免責制度や賠償保険制度が未整備である	実施にあたる職員個人の負担が大きい	個々の状態の変化が起きやすく(体調を崩しやすく)非医療職では判断(対応)が難しい	家族の理解がえられにくい	看護師の理解がえられにくい	医師の理解がえられにくい	急変時に受け入れてくれる医療機関の確保がむずかしい
170 43.4	116 29.6	241 61.5	57 14.5	221 56.4	240 61.2	192 49.0	31 7.9	26 6.6	48 12.2	115 29.3

いつでも相談(24時間コール対応)できる医療機関の確保がむずかしい	その他	回答なし	回答者数
107 27.3	23 5.9	34 8.7	392 100.0

## 医療的ケアの実施が認められた場合の対応について

表 70 問 39 非医療職による医療的ケアの実施意向

行うつもり	条件によっては前向きに検討	消極的	その他	回答なし	合計
28	162	87	52	38	367
7.6	44.1	23.7	14.2	10.4	100.0

表 71 問 40 非医療職による医療的ケアの実施にあたっての条件

医療的ケアについての加算があれば	非医療職のための医療的ケアの研修を行政が提供してくれれば	研修費用を行政がもってくれれば	主治医による依頼書や指示書が提出されれば	訪問看護事業所の協力があれば	看護師がみつければ	嘱託医師など、事業所と連携できる医師がみつければ	非医療職の職員配置基準が改善されれば	免責制度や賠償保険制度が整備されれば	利用実績があるなど、ケアの実際が把握できている利用者ならば	特定の医療的ケアは行う予定
57	105	51	85	39	29	48	40	92	45	4
35.2	64.8	31.5	52.5	24.1	17.9	29.6	24.7	56.8	27.8	2.5

その他	回答なし	回答者数
18	6	162
11.1	3.7	100.0

## クロス集計

表 72 問 22-2 重度の肢体不自由児者への医療的ケアを実施した職員の状況 × 問 34 医療的ケアに関する研修内容で特に関心があるもの

	医療的ケアの歴史と考え方(社会的・法的観点等)	医療的ケアの心構え	医療的ケア実施に必要な人体器官の基礎知識	痰の吸引等、医療的ケア内容についての具体的知識	実習・体験(不特定多数への実施を念頭においたもの)	実習・体験(特定の利用者への実施のためのもの)	その他	回答なし	回答者数
非医療職員	12 48.0	17 68.0	17 68.0	21 84.0	11 44.0	12 48.0	0 0.0	0 0.0	25 100.0
看護師・准看護師の資格をもつ職員	16 33.3	24 50.0	32 66.7	37 77.1	19 39.6	26 54.2	0 0.0	1 2.1	48 100.0
看護師以外の医療資格をもつ職員	4 57.1	4 57.1	5 71.4	7 100.0	4 57.1	4 57.1	0 0.0	0 0.0	7 100.0
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
回答者数	18 34.6	26 50.0	35 67.3	39 75.0	20 38.5	27 51.9	0 0.0	1 1.9	52 100.0

表 73 問22-2 重度の肢体不自由児者への医療的ケアを実施した職員の状況 × 問38 非医療職のヘルパーが医療的ケアを実施することの課題

	医療的ケアが業務として位置づけられていない	医療的ケアについての加算がない	非医療職のための医療的ケアの研究が不十分である	訪問看護事業所または看護師の協力が得られにくい	免責制度や賠償保険制度が未整備である	実施にあたる職員個人の負担が大きい	個々の状態の変化が起きやすく(体調を崩しやすく)非医療職では判断(対応)が難しい	家族の理解がえられにくい	看護師の理解がえられにくい	医師の理解がえられにくい
非医療職員	12 48.0	8 32.0	14 56.0	4 16.0	15 60.0	10 40.0	7 28.0	0 0.0	0 0.0	5 20.0
看護師・準看護師の資格をもつ職員	27 56.3	18 37.5	30 62.5	7 14.6	27 56.3	29 60.4	23 47.9	2 4.2	4 8.3	8 16.7
看護師以外の医療資格をもつ職員	3 42.9	2 28.6	2 28.6	1 14.3	6 85.7	4 57.1	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0
その他	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
回答者数	27 51.9	18 34.6	32 61.5	9 17.3	27 51.9	30 57.7	24 46.2	2 3.8	4 7.7	9 17.3

	急変時に受け入れてくれる医療機関の確保がむずかしい	いつでも相談(24時間コール対応)できる医療機関の確保がむずかしい	その他	回答なし	回答者数
非医療職員	11 44.0	11 44.0	2 8.0	0 0.0	25 100.0
看護師・準看護師の資格をもつ職員	12 25.0	17 35.4	2 4.2	2 4.2	48 100.0
看護師以外の医療資格をもつ職員	2 28.6	4 57.1	0 0.0	0 0.0	7 100.0
その他	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
回答者数	15 28.8	19 36.5	3 5.8	2 3.8	52 100.0